

灸道湖

CONTENTS

教育研修部コラム“押してだめなら”	2
島根県障がい者スポーツ大会 ポッチャ競技会に出場しました！	4
人生会議の大切さについて ～もしバナゲームを体験して感じたこと～	6
永年勤続表彰	7
看護の日	8
新人紹介	8
地域医療連携室だより	9
ヤギによる病院敷地の除草について	9
外来診療表	10



"押しだめなら"

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹



「押しだめなら、引いてみる」。

どこかで聞いたことのあるこの言葉。実は我々の世界でも役に立っています。

日常生活の場面なら、どんなに押しでもダメだったドアを、試しに引いてみたらスッと開いたり。そんなことはありませんか？自分はたまにあります（←ココ、ワラウトコロ）。昔、大学時代にとある先輩が、別の先輩への恋愛指南としてこの言葉を使っているのを聞いたこともあります。その受け売りで自分が後輩に同じ話をしたこともあります（←ココモ、ワラウトコロ）。

今流行りのChatGPTにこの話題を振ってみるとこんな例を挙げてくれました。"例えばある商品を売りたい時に「これはとっても便利な商品だから、是非買ってください」と何度も言っても、相手にはなかなか響かないことがあります。しかし、同じ商品についての利点について相手からの情報を聞いたり、他の顧客の声を取り入れたりとすることで、目標客層のニーズに合わせたアピールができれば、購入への導入となることもあります"

要するに、「押す」という行為が首尾よくいかなかったのなら、「引く」という真逆の行為くらい、drasticにやり方を変えなさい、という教訓です。

日常診療でも、現状を改善させるために治療介入をしていきます。介入前に適切な判断（我々はそれを診断と呼びます）ができている場合には、多くの場合うまくいきます。しかし、残念ながら一定の割合

合でうまくいかない場合もあります。そんな時、今やっている介入を「引く」ことでうまくいくことも経験されます。医療はどうしても（＝良かれと思って）「足し算（＝押す）」ことが多くなってしまうのですが、うまいこと「引き算」をしていくということも大切な意味を持つこともあるのです。

「押しだめなら、引いてみる」。



図1：非侵襲的換気療法に使用するマスクの1例

当院が得意とする非侵襲的陽圧換気療法（図1）は、人工呼吸器からマスクを介して経気道的に送気して肺を膨らますことで呼吸をサポートする呼吸管理法。「陽圧」というのは体に向かって、人工呼吸器で空気を（多くは酸素を混ぜて）「押す」治療ということになります。現在はこの「陽圧（押す）」が主流です。

しかし人工呼吸はそもそも、「陽圧（押す）」の逆、「陰圧（引く）」から始まったのでした。1940～50年代にヨーロッパでポリオが大流行し、たくさんの呼吸不全患者さんが発生しました。その時に大活躍したのが図2のタンク式の陰圧式人工呼吸器、いわゆる"鉄の肺"。患者さんにこの中に入れてもらい、顔だけ出してもらいます。それ以外をタンクの中とい

う密閉空間におき、その中の空気を抜く（＝引く）のです。そうすると陰圧がかかって胸郭が動く！それで呼吸をサポートしていたのです。



図2：タンク式陰圧式人工呼吸器＝"鉄の肺"

世の中の流れで、この大掛かりかつ高額な"鉄の肺"はすっかり廃れてしまいました。陽圧換気全盛となり、非侵襲的陽圧換気療法の世界的な普及もあり、「押す」治療が「引く」治療を完全に凌駕してしまいました。しかし、陰圧式人工呼吸には様々なメリットがあること、陽圧換気が不得手するところを補完できることがわかってきて再び注目されつつあります。陰圧換気の中では比較のお手軽なキューラス（胸あて）を使った、陽陰圧人工呼吸（BCV：図3）はまだまだ現役です。

何を隠そう、当院はこのBCVを様々な用途（排痰



図3：キューラスを用いた陽陰圧式人工呼吸器＝BCV

促進、呼吸リハビリテーション）に使用している全国でも数少ない病院なのです！陽圧式人工呼吸がフィットせず、危機的な状況をこのBCVでうまく乗り越えられたケースも経験しています。

「押してだめなら、引いてみる」。

人工呼吸の世界でも、この言葉は実は通用します。ご興味ある方は門脇までご連絡ください。

今回も当院呼吸器内科の治療のご紹介も併せてさせていただいたこの教育研修部コラム。いろいろ頑張っていましょい！



表紙の作品「ゆかいなまきば」の作者紹介



2階病棟
中島 匡彦 さん

パソコンで絵を描き始めて14年になります。

病棟の自動ドアや常夜灯、食事介助の様子など自分の目線で見えるものを描いています。

また、童話や童謡の世界を想像して、絵に表現しています。

島根県障がい者スポーツ大会



令和5年6月11日（日）、1階病棟の住田義治さん、宮崎光さん、梶谷泰英さんが「島根県障がい者スポーツ大会」に出場するため、松江市総合体育館に行ってきました。ポッチャというパラリンピックの公式競技を行うためです。

コロナによる外出制限が終わり、患者さんたちにとって初めての外出がこの大会です。

大会参加のために野津療育指導室長や1階病棟担当の松原主任児童指導員が企画し、実現できる日が無事に来ました。1階病棟からもボランティアとして平塚看護師が



リーダーシップをとり、荒田看護師と有馬看護師が日頃の練習成果を発揮できるようにと付き添いました。8時頃から準備し、公用車に乗り込み、無事に到着しました。

開会式では、みんなドキドキわくわくです。



まず、10時から1試合目が開始されました。

梶谷泰英さんは、1点を挙げ、勝利は逃したものの大健闘でした。

宮崎光さんは、惜しくも敗れましたが、声援を受けてボールをランプに沿わせていい位置に置くことに挑戦しました。



住田義治さんは、先攻で3対1、その後1対1で勝利し、2回戦へとコマを進めました。松江医療センター歴史的な勝利です。



ボッチャ競技会に出場しました！

1階病棟看護師長 榎本 治美



2回戦では、元野球部である住田義治さんは頭を使いながらランプの位置、ボールを置く位置を考え、対戦しました。対戦相手は、マイボール、マイランプを持参し、微妙な調整をしながらボールを転がします。どちらも素晴らしい試合でした。惜しくも敗れましたが、この試合を通して公式ルールや試合の運び方を学びました。



昨年度まで1階病棟の担当だった療育指導室の和田さんも応援に駆けつけてくれました。現在は徳島病院で勤務されています。奥様と小さな子どもさんも一緒に声援を送ってくれました。また、1ヶ月実習に来ていた介護福祉科の学生さんも応援に来てくれました。



今回の大会で優勝すれば、鹿児島での全国大会だったそうです。5年後は、全国大会が島根県で開催されると聞きました。その頃まで練習を頑張っていきましょう！

帰りの車に乗り込む前の写真です。いい笑顔の方、ちょっぴり疲れた表情の方、皆さん、無事に試合を終えました。



多くの方のおかげで今回の大会出場を終えられたことに感謝します。松江医療センターの患者を支えるチームは、これからも患者さんの快の感情を引き出し、自己実現を支援していきます。

人生会議の大切さについて ～新採用者研修で「もしバナゲーム」をやってみました～

5階病棟看護師長 がん性疼痛看護認定看護師 堀江 千恵



令和5年4月6日、今年度採用の新人看護師7名を対象に「もしバナゲーム」を行いました。1時間の研修の中で、3～4人に分かれて2回ゲームを行い、グループ内で感想を話して共有しました。ゲームを通して、それぞれに大切にしたい価値観があることを知ったり、自分が大切に思っていることを再認識するきっかけとなりました。新人看護師の感想の一部を紹介します。

初めてもしバナゲームをやってみて、人それぞれの価値観の違いがあることを知りました。また、自分が何を大切にしたいかも考えることができたので良かったです。

今後、看護師として業務を行う中で、価値観の差も出てくると思うので、一人ひとりの意見を聴けるような人になりたいです。

そして、患者さんの気持ちを考え、個別性・価値観を尊重した看護をしていきたいです。



人の価値観はそれぞれ違うことがわかりました。そのため、自分ならこうして欲しいから相手もそうだろうと思いつくのではなく、その方にとって大切にしたいことは何かを知ることが大切だとわかりました。

自分の意思を伝えることの難しい患者さんに対して、どのように考えているのか知るにはどうすればよいかを課題にしていきたいです。

初めてもしバナゲームをやってみて、人それぞれの価値観の違いがあることを知りました。また、自分が何を大切にしたいかも考えることができたので良かったです。

今後、看護師として業務を行う中で、価値観の差も出てくると思うので、一人ひとりの意見を聴けるような人になりたいです。

そして、患者さんの気持ちを考え、個別性・価値観を尊重した看護をしていきたいです。



永年勤続 表彰



臨床検査技師長 **佐藤 友則**

この度は永年勤続30年の表彰をしていただき誠にありがとうございました。
国立福山病院から勤務が始まり、数施設を経てこの松江医療センターで30年を迎えることができました。先輩、同僚、後輩、周りの皆様からのお力添えがあり、今日まで勤務出来ていることに大変感謝しています。
今後も初心を忘れずに患者様、病院に少しでも貢献出来るように努めていきたいと思えます。



医療安全管理係長 **仲野 美由紀**

この度は永年勤続の表彰をしていただき、誠にありがとうございました。
この30年間、与えられた仕事を精一杯やり続ける事ができたのもひとえに、これまで出会ってきた多くの方々のご指導や支えがあってこそだと思ひ、大変感謝しております。また、家族の理解と協力に恵まれたことにも、ありがたく感じています。
これからも微力ではありますが病院に貢献できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



理学療法士長 **今井 靖二**

20年前、松江病院で採用となり今日まで勤務させて頂き感謝申し上げます。10年ぶりに当院に復帰させて頂きましたが、今も昔も変わらず働きやすい職場で居心地が良いです。
COVID-19の影響で、どこの病院も経営状況が厳しい時期ではございますが、まずは経営改善に向け微力ながら全力を尽くす所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



地域医療連携係長 **田村 浩子**

この度は、永年勤続を表彰いただきありがとうございます。
20年という間、国立病院機構の職員でいられたということは、様々な方の支えがあったからだと感じており、皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。
看護師として『患者さんに寄り添い安全で安楽な看護を提供したい』と考え続けてここまで来ました。今後も皆さんと共に患者さんにとって質の良い安全安楽な看護を提供していきたいと思っています。



外来看護師 **稲葉 多恵子**

この度は永年勤続20年を表彰していただき誠にありがとうございました。
早いもので20年が経過し、その間に沢山の出会いがあり、色々な方々の助けがあり今日を迎えられています。本当に感謝の一言に尽きます。
まだまだ至らないことも多く、未熟者ではありますが、感謝の気持ちを忘れずに努力をして参りたいと思ひます。今後とも宜しく願い致します。

「看護の日について」

3階病棟看護師 青山 千佳



看護の日は近代看護教育の母として生涯にわたり医療と看護の改革に貢献してきたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。

看護の日の目的は、看護の心、ケアの心、助け合いの心を分かち合うことです。

こうした心を老若男女を問わず誰しもが持つきっかけとなるように、旧厚生省が1990年に制定しました。制定に至った背景は、市民と有職者による「看護の日の制定を願う会」の運動だったそうです。

看護の日には「看護の心をみんなの心に」というテーマで各地で様々なイベントが開かれます。当院でも毎年、看護師から患者さんへメッセージカードを渡しています。メッセージカードには、看護を通じて患者さんを支援し、応援する気持ちを綴らせていただき、日頃の個別的な関わりについてのメッセージも書き添えて渡しています。この日を楽しみにしてくださっている患者さんも多く、慢性期の病棟ではこのカードをもらおうと、今年も5月12日が来たんだな…と喜んでくださる患者さんもいます。今年は新たに、当院スタッフのお子さんに働くお母さん・お父さんの絵を書いてもらい、待合スペースに掲示を行いました。作品には病院で患者さんに心のこもった看護をするお母さん・お父さんの姿が描かれていました。私たち看護師は、家族にも支えられて日々の看護に携われていることを改めて感じる事ができました。私事ですが、夜勤に出かける際に、寂しいけれど「頑張ってるね。」と泣かずに見送ってくれるわが子に、感謝と愛おしさを感じます。各ご家庭のお子さんが、看護師として働いているお母さん・お父さんを、どんな格好でどんな風にお仕事をしているんだろうと一生懸命想像して描いてくれたことと思います。

私は、十数年前の看護学生時代のこの日に、戴帽式をしたことを今でも覚えています。看護の日を通して、これから将来を考える若い方々は「看護への興味を持つきっかけ」の日に、看護学生の方は「どんな看護師になりたいか」志を持つ日に、現役看護師の方は「なぜ看護師になったのか」を振り返る日にし、これからの高齢化社会を協力して支えていくためにも、市民の皆さん、患者さんと共に、年に一度の看護の日を大切に過ごせたらいいな、と思います。



新 人 紹 介

2階病棟看護師 深石 悠星



私は令和5年4月より松江医療センターに入職し、2階病棟で看護師として働いています。

学生の時に、2階病棟で実習をさせていただき、患者さんと医療従事者のアットホームな関係性や患者さんの生活の場を意識した看護に憧れを感じたのを覚えており、2階病棟に配属されたことを嬉しく思います。入職してからは初めて行うケアが多くあるため緊張したり、慣れない環境で不安になることもあります。先輩看護師の丁寧なご指導のお陰で、日々成長を実感しながら働くことができます。

私の働く2階病棟は筋ジストロフィーや重症心身障がい児(者)の患者さんが入院されており、患者さんにとっては病棟が生活の場となっています。その為、患者さんの生活が安全・安楽に、また、豊かに過ごせるよう多職種と連携して看護を行うことや、常に笑顔でコミュニケーションを取り、ケアの際には患者さんに苦痛が伴わないように丁寧に行うことを心がけています。

まだまだ分からないことだらけで上手いかわからないこともありますが、日々経験や勉強を積み重ねていき、少しでも患者さんが安全安楽で、笑顔溢れる生活を過ごせるよう、努力していきたいと思っています。

地域医療連携室だより 第51号

令和5年 7月



☎ 0852-21-6131 (代表) または
0852-24-7671 (地域医療連携室)

地域の皆様へお知らせ

コロナ禍があけ出前講座を行えます。

健康啓発を目的としてテーマを30項目挙げています。ホームページに掲載していますので興味がある団体の方は、地域医療連携室にご一報ください。

地域の先生方へお知らせ

以前より当院では、脊椎や肺MRIを行っておりました。この度、新たに脳MRI検査を委託でお受けすることとなりました。

読影結果と共に1週間程度でCD-Rを郵送いたします。

詳細については、地域医療連携室にご確認いただきますようお願いいたします。



ヤギによる病院敷地の除草について

庶務班長 竹久 啓一



昨年好評だったヤギによる病院敷地の除草を今年度も5月から9月の予定で実施します。

除草はもちろんのこと、その愛くるしい姿は癒しにも繋がっており、患者さんや職員を癒やしております。ヤギは怖がりですので、ヤギを驚かせないように温かく見守ってあげてください。



外来診療表

お気軽にご相談下さい

令和5年7月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科		岩本(初)	西川(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介 【副院長、統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
		西川	小林	岩本		木村	
			門脇	池田	坪内	小林	
循環器内科						生馬	【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般
脳神経内科 (予約優先)	中島 (完全予約制)	古和	深田	足立 中野	交替制		
呼吸器外科		目次		目次		目次	【脳神経内科】 中島 健二 古和 久典 足立 芳樹 細田 義人 下山 良二 深田 育代 中野 俊也 来海 壮志 【名誉院長】脳神経内科(完全予約制) 【院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科 脳神経内科
消化器内科		法正					
小児科	発達 専門外来	久保田 (予約)	齋田 (予約)	齋田 (予約)	久保田 前垣 (第2木曜のみ) (予約)	齋田 (予約)	【呼吸器外科】 目次 裕之 呼吸器外科・一般外科
	予防接種		(予約)				
麻酔科	腰痛外来			西村 (予約)			【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 前垣 義弘 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
特 殊 外 来	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	
	睡眠時無 呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		
特 殊 外 来	息切れ 外来		呼吸器内科 池田(予約)				【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域
	喘息 アレルギー外来					池田 (予約)	
特 殊 外 来	咳嗽外来					池田 (予約)	【消化器内科】 法正 恵子 消化器内科領域
	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		
特 殊 外 来	アスベスト 外来		(予約)	(予約)	(予約)		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30 独立行政法人 松江医療センター 国立病院機構 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 地域医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 地域医療連携室FAX (0852) 24-7661
	もの忘れ外来			深田			
その他	セカンド オピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	

特 殊 外 来	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,500円
	睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。	
セカンド オピニオン外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当いたします。	